

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島メタル&マシナリー 広製作所

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広白岳1丁目2番43号

(3) 業種

製鋼・製鋼圧延業

2 計画の期間

平成25年度を基準として、令和2年（2021年）～令和12年（2030年）までの10年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013年)	令和12年度 (2030年)	令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和 年度 ()	令和12年度 (2030年)
エネルギー 起源CO ₂	108,653	103,220 5.0	36,897 66.0	47,132 56.6	36,835 66.1		
非エネルギー 起源CO ₂	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	108,653	103,220 5.0	36,897 66.0	47,132 56.6	36,835 66.1	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	新型コロナウイルスによる景気後退から生産量の大幅な減が影響している。						

※ 削減率 (c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：製品出荷数量(81,209t)

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013年)	令和12年度 (2030年)	令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率 (c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	1,000KL	製鋼電炉統合により、70t炉の操業へ変更、20t、15t、5tは休止
2	電気使用量の削減	該当操業による電気使用量を年0.7%削減する	コンプレッサー・集塵機の統合によりロス削減効率化、電気使用量削減を目指す
3	電気使用量の削減		コンプレッサーの工場内配管のエア漏れ解消
4	電気使用量の削減		工場内照明のLED化

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	照明のLED化 残	15.7kl	工場内照明のLED化
2	社有車の電気自動車化	0.3kl	管理本部社用車を電気自動車へ更新
3	空気設備の定期補修	40.7kl	約60台の空調機フィルターの定期的清掃

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。